

令和2年度 有田町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況及び効果検証シート

事業No	事業名称	所管課	事業概要 ①目的・効果 ②充当経費内容 ③事業対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	A					実施内容	成果(可能な限り定量的な数値で表示)	検証・課題等	
						総事業費	国庫補助額	コロナ交付金 充当額	D 起債額	E その他 (一財等)				F コロナ交付金 繰越額
1	公共交通緊急支援事業	まちづくり課	①外出自粛要請や町内各種施設の休業等による利用者の減少で、大きな影響を受けているタクシー事業者に対し、安心かつ安全に事業を継続してもらうために支援するもの ②保有車両台数に応じた補助金 ③町内に本店又は営業所を有するタクシー事業者	R2.5.11	R2.7.31	270,000	0	270,000	0	0	0	保有車両台数に応じた補助金を支給	有田タクシー14台、西肥電の井タクシー13台、計27台分について、1台あたり10,000円の補助金を交付した。	各タクシー事業者に対し、6月には補助金を交付することができ、迅速に対応することができた。
2	新型コロナウイルス感染症対応衛生事業	健康福祉課	①感染症拡大防止を図るために、マスク等の衛生用品を購入、配布し、感染予防を徹底する。 ②マスク等の購入に係る経費を交付対象経費とする。 ③町内福祉施設等	R2.5.25	R3.3.31	345,000	0	345,000	0	0	0	マスク等の衛生用品を購入、配布	サージカルマスク(大人用3千枚)等購入	マスクの備蓄ができ、不足の事態に備えることができた。
3	新型コロナウイルス感染症対応衛生事業	健康福祉課	①夏から秋にかけての多雨期における、災害時の避難所等での感染拡大防止及び冬場にかけて予想される第2波、第3波における感染防止を目的として、衛生用品を購入し体制強化を図るもの。 ②マスク及び体温測定機器等の購入に係る経費を交付対象経費とする。 ③ー	R2.5.25	R3.3.31	6,569,378	0	6,569,378	0	0	0	感染防止を目的として、衛生用品を購入し体制強化	備蓄用サージカルマスク(大人用196千枚、子供用113千枚)消毒用アルコール630ℓ非接触型体温計40本等購入	マスクの備蓄ができ、不足の事態に備えることができた。また、各施設へアルコール消毒液や非接触型体温計を配布することにより、感染防止対策を取ることができた。
4	玉ねぎ生産緊急支援事業	農林課	①飲食業の休業や学校給食などの休止により、玉ねぎの消費が急速に低下していることから、農家の営農意欲維持と作付けの安定化を図る。 ②令和2年4月から10月までに出荷を行った農家に対して、キロ当たり10円の緊急給付支援 ③玉ねぎ生産農家	R2.6.1	R2.12.28	1,061,650	0	1,061,650	0	0	0	玉ねぎ生産農家に対して、キロ当たり10円の緊急給付支援	令和2年4月から6月出荷の玉ねぎについて、キロ当たり10円の補助を実施し、32人からの申請があり、総額1,061,650円を交付	コロナの影響により出荷販売した成果品で過去5年間の市場平均単価を下回った月(4月から6月まで)に対し助成を行い、作物単価の安定を図ることができた。 農作物全般にいえることだが、農作物の安定生産には、コロナに限らず、農作物の価格安定と下落時における単価補償がすべての品目で必要となる。
5	肥育牛農家支援事業	農林課	①休業要請及び外出自粛下における消費低迷による、枝肉価格の下落により経営が悪化している肥育牛農家を支援。 ②65頭×10,000円×7か月(R2.3月～9月)、54頭×10,000円×6か月(R2.10月～R3.3月) ③肥育牛農家	R2.5.27	R3.3.31	7,200,000	0	6,680,000	0	520,000	0	経営が悪化している肥育牛農家を支援	令和2年3月から令和3年3月までの間、町内の肥育牛農家に対し、全部で720頭×10,000円の交付を行った。対象者(肥育牛農家)の申請率は100%	対象者は全員申請を行い、効果があった。枝肉価格は令和2年10月に前年水準にまで戻り、肥育農家の支援に繋がった。なお、肉用牛肥育経営安定交付金(牛マルキン)はその後も10月と令和3年2月に発動し、先行の不透明さから牛牛導入の足止めが懸念され、今後は子牛導入への支援が課題。
6	Web有田陶器市開催支援事業	商工観光課	①有田陶器市が延期されたことに伴い、大きな経済的損失が生じる陶磁器関連事業者等への支援及び地域経済の活性化を図るため、Web上で陶器市を開催する。期間中買い物いただいた商品の送料を町が支援する。経済的な損失の縮小、新たな販路開拓やビジネスモデルの構築等に繋がることが効果として期待できる。 ②負担金補助及び交付金 ③有田商工会議所	R2.4.28	R2.9.30	29,984,597	0	29,984,597	0	0	0	・「Web有田陶器市特設サイト」の作成 ・参加店舗のホームページ、ECサイト構築支援 ・「Web有田陶器市」上で、期間中(4/29-5/5)に購入された商品の送料を支援	参加店舗:129店舗 発送件数:30,369件 送料:28,099,790円 売上:約245,000,000円 ECサイト新規開設店舗:45店舗 アクセス数:46万ユーザー(4/29-5/5)	陶器市の雰囲気を楽しめるように特設サイトを工夫し、従来からのお客様はもちろん、新規の方へも多く発信することができた。参加店舗へのアンケートでは、ほとんどが実施してよかったとの回答。また、オンラインビジネスの重要性を実感したという結果が得られた。
7	飲食店支援事業【有田おうちごはん イエニヨウ(1,214万円)キャンペーン】	商工観光課	①新型コロナウイルス感染拡大が続いており、町内飲食店事業者にも様々な影響が出ているため、テイクアウトやデリバリーに取組む飲食店事業者を応援する事業を実施することで、飲食店の事業継続の下支えとなることが期待できる。 ②20%相当分補助12,140千円、事務費等860千円 ③有田観光協会	R2.4.28	R2.6.30	12,610,724	0	12,610,724	0	0	0	飲食店の20%値引き分を町が支援	飲食店の20%値引き分を町が支援	参加店舗:52店舗 飲食店支援費:11,865,533円 事務費等:745,191円 事業費合計:12,610,724円

8	有田町事業者緊急支援給付金事業	商工観光課	①経済的に大きな影響を受けている町内事業者に対して、事業の継続を支援するため給付金を支給する。事業継続を下支えし、再起の糧となることが効果として期待できる。 ②需用費56千円、役務費(郵便料、口座振込手数料等)194千円、負担金補助及び交付金(法人事業者150千円×550事業者、個人事業者100千円×450事業者)127,500千円 ③町内の中小事業者・小規模企業者、個人事業者	R2.6.15	R2.8.31	98,950,000	0	87,133,238	0	11,816,762	0	町内事業者に対して、事業の継続を支援するため給付金を支給	町内事業者に対して、事業の継続を支援するため給付金を支給	法人: 325件(150,000円/件) 個人: 502件(100,000円/件)	
9	新型コロナウイルス感染者一時避難等施設整備事業	財政課	①新型コロナウイルスに感染または感染の疑いがある住民のうち、発熱等の症状がある人やその家族を一時的に退避させ、感染拡大を防ぐ。また、感染拡大傾向が続いた場合は、検査等の会場としても活用する。 ②町有施設(旧医師住宅)の改修費用及び備品購入費 ・改修内容: フローリング、トイレ、風呂、台所まわり、照明、空調ほか ・備品購入内容: 主に冷蔵庫庫、テレビ、電子レンジ ③町有施設(旧医師住宅)	R2.10.1	R3.3.31	3,449,600	0	3,400,000	0	49600	0	町有施設(旧医師住宅)の改修費用及び備品購入	町有施設(旧医師住宅)を感染症対策の一時避難所として整備を完了している。また、災害時に被災された方の一時的な滞在施設としても活用可能にしている。	令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大による施設利用実績はない。 今後、感染症への対応や災害時の被災者の対応等に活用していく。	
10	STEAM教育推進事業	まちづくり課	①子どもたち一人ひとりの知的創造性を育むという観点で重要なアプローチであるSTEAM教育に先駆的の取り組み。新たな時代に相応しい教育を実現するために、GIGAスクール構想を推進する中で、教育コンテンツや研修機会の充実を図る。 ②協議会の運営費、ワークショップ等の開催費 ③ー	R2.10.1	R4.3.31	4,037,000	0	3,993,000	0	44,000	3,993,000	繰越実施中			
11	サテライトオフィス創出事業	まちづくり課	①空き家となった古民家が増加している中で、こういった空き家を改修することで、都市部の事務系企業の地方への経営拠点の分散に対応できる施設を整備するもの。リビングフトの促進、雇用創出、強靱かつ自律的な地域の社会経済構築といった効果が期待される。 ②サテライトオフィス創出・活用業務委託料、サテライトオフィス創出事業補助金 ③町内空き物件所有者	R2.9.14	R4.3.31	5,740,000	0	3,740,000	0	2,000,000	3,740,000	繰越実施中			
12	基幹公共交通持続化支援事業	まちづくり課	①新型コロナウイルスの影響により、利用者が著しく減少し厳しい経営を迫られ、今後も利用状況の回復が見込めない状況にある中で、通勤、通学など生活路線として不可欠な松浦鉄道の運行を維持する支援金を沿線自治体と共同で給付することで、安定的かつ持続的な運行を維持する。 ②基幹公共交通持続化支援金 ③松浦鉄道株式会社	R2.9.14	R3.3.31	4,600,000	0	4,600,000	0	0	0	0	松浦鉄道の運行を維持するため基幹公共交通持続化支援金を支給	直近5年間の燃料費の平均額に松浦鉄道施設整備事業の令和2年度有田町負担指数を乗じた額を補助金額とした。	有田町を含む松浦鉄道の沿線自治体と佐賀県、長崎県から総額約140,000千円を補助した。令和2年度の運賃等収入額は▲148,000千円ほどとなり、事業継続という点で、じゅうぶんな支援を行うことができた。
13	オール有田で応援すっ券(商品券)発行事業	まちづくり課	①新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている中、町民が新たな生活様式に対応していくための生活支援及び町内における消費喚起を通じた地域経済の活性化を図るもの。 ②商品券発行に要する経費(印刷費、郵送料、換金等委託料、商品券発行原資等)を交付対象経費とする。 ③令和2年7月1日時点の住民登録者	R2.8.1	R3.3.31	101,889,236	0	101,889,236	0	0	0	0	生活支援及び町内消費喚起を促した地域経済の活性化のため商品券の発行	対象者(町民)による商品券の換金率98.2%	町民全員に商品券を交付し、98.2%の換金がなされたことは効果があつた。取扱事業者に対しアンケート調査を実施した結果、売上及び売上以外への効果はほぼ全ての事業所で見られ、新規顧客の獲得に繋がった。なお、事業の効率性を上げることが課題。

14	防災対策事業	総務課	①避難所における感染症対策の強化及び環境改善を実施する。また、小中学校の臨時休校時に3密を回避した空間でオンライン学習ができる場として避難所を活用するための環境整備を行う。 ②避難所設営のための消耗品及び備品購入経費、分散避難及び広域避難時に使用するための車両購入経費、通信環境整備のためのWiFi整備経費 ③町内避難所	R2.10.1	R3.6.31	24,562,106	0	23,997,986	0	564,120	8,939,000	避難所設営のための消耗品及び備品購入経費、分散避難及び広域避難時に使用するための車両購入、WiFi整備	使用する頻度の高い避難所のWi-Fi環境、暖房・冷房設備、避難者の密接回避が確保された。	3つの密を避けるため、より分散した避難誘導と、安全な避難所であることの周知が課題となる。	
15	おうちでトレーニング普及事業	健康福祉課	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中断や縮小された、趣味や運動の活動の場へ行けなくなった町民向けに、ケーブルTVでトレーニング映像等を放映することにより、筋力低下を予防する。また、閉じこもり高齢者等に対して、フレイル予防を目的とした通いの場への参加を促す。 ②講師を招聘し、ケーブルTVにおいて映像の撮影、編集、放映に要する経費。 ③町内高齢者・ケーブルテレビ視聴者全般	R2.10.1	R3.3.31	984,500	0	984,500	0	0	0	ケーブルTVでトレーニング映像等の放映	新型コロナウイルス感染症対策で外出を控えていた高齢者等にフレイル予防のため、地元ケーブルテレビを活用して放映を行った。町広報、ホームページで周知し、好評であったため町ホームページに動画を掲載した。また、住民主体の通いの場でも広めたいとの声もあり、在宅でのトレーニング促進に効果があった。	同左	
16	新生児臨時交付金事業	子育て支援課	①新型コロナウイルス感染症の影響下において、出産後の経済的な支援及び子どもの健全な成長を応援するため、国の特別定額給付金の対象とならなかった令和2年4月28日以降に生まれ、有田町に住民登録された新生児を対象に臨時交付金を支給する。 ②新生児一人当たり100,000円の支給に要する経費 ③R2.4.28～R3.3.31の間に生まれ、有田町に住民登録された新生児の保護者(要申請)	R2.9.11	R3.3.31	10,120,738	0	8,220,738	0	1,900,000	0	新生児一人当たり100,000円の支給	助成対象児童数 102人 (内、1人転入前市町で受給のため申請無) 給付実績(100%) 101人×100,000円=10,100,000円 内、交付金対象額 82人×100,000円=8,200,000円 事務費 20,738円	新型コロナウイルス感染症が社会経済活動に与える影響を勘案し、国が実施した臨時特別給付金の対象外となった児童の保護者に対し給付金を支給した。子どもを養育する保護者の経済的な負担を軽減し、安心して生み育てられる環境づくりができた。	
17	子どもインフルエンザ予防接種助成事業	子育て支援課	①インフルエンザ予防接種費を1歳～15歳の児童に対し助成することにより、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行を抑制し、重症化及び医療崩壊を防ぐ。 ②1歳～15歳(中学3年生)までの任意接種については、既存の助成に上乘せし、自己負担額を減額することにより接種率を対象児童の80%接種(20ポイント向上)を目指す。 ③1歳～15歳(中学生)までの児童	R2.10.1	R3.3.31	1,945,000	0	1,945,000	0	0	0	1歳～15歳(中学3年生)までの任意接種に対し、既存の助成に上乘せし、自己負担額を減額	助成対象児童数 1937人(R2.4.1現在) 助成児童数 973人(50.2%)	新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行を抑制するため、小学生未満の児童の1回目の接種に対し助成を行い、児童の保健の向上と子育て世帯の経済的負担の軽減に寄与できた。	
18	インフルエンザ予防接種助成事業	健康福祉課	①新型コロナの重症化リスクの高い高齢者のインフルエンザ予防接種について、自己負担額を軽減することにより、新型コロナとインフルエンザの同時流行を抑制し、重症化及び医療崩壊を防ぐ。 ②65歳以上の定期接種について、自己負担額を減額することにより、接種率の向上(58.8%→80%)を目指すために要する医療機関への委託料。 ③65歳以上の町民	R2.10.1	R3.3.31	5,055,470	0	5,055,470	0	0	0	65歳以上の定期接種に対し、自己負担額を減額	新型コロナの重症化リスクの高い高齢者のインフルエンザ予防接種について、自己負担額を1,400円から1,000円軽減し、接種率の向上を図った。結果は、目標の80%には届かなかったが、72.9%となり、自己負担額軽減の効果はあった。	新型コロナ感染防止対策として、例年にくる冬の感染予防対策が徹底されたこともあり、インフルエンザの発生は0件となった。このため、インフルエンザ予防接種の接種率の向上が新型コロナの感染対策となったのか検証するのは困難。	
19	紙製容器リサイクルポイント事業	住民環境課	①新しい生活様式を取り入れる中、家庭からの可燃ごみ搬出量が増加傾向であるため、リサイクル資源である古紙の分別を推進することで可燃ごみの減量化を図る。町民の古紙リサイクル活動に対し、ポイントを付与し、蓄積ポイント(ポイントカード)を商品券として町内商店で利用できることで、町民のリサイクル意識の醸成、及び町内での消費の推進、町内商店の活性化を図る。 ②商品券(ポイントカード)発行に要する報償費、需要費及び委託料 ③町民、町内商店(指定ごみ袋取扱店)	R2.8.1	R3.3.31	4,423,941	0	4,423,941	0	0	0	0	古紙リサイクル活動に対し、ポイントを付与し、蓄積ポイント(ポイントカード)を商品券として町内商店で利用した。	参加者 613人 17地区 ポイントカード発行数 8,636枚 持込古紙重量 83,328kg(前年度同期間40,860kg) 町内商店における商品券(ポイントカード)の使用枚数 7,989枚(3,195,600円)	この事業を通じ、町民の皆様が古紙がリサイクル資源であることを周知できた。 (参加者アンケート実施により、回答者の14.7%の方が古紙を燃えるごみとして処理していた。)また、同アンケート回答者の90.8%が、「今後も古紙のリサイクル活動を続けたい」と回答があり、古紙のリサイクル意識の醸成に貢献した。商品券取扱商店のアンケートにおいても、回答があったほぼ全ての商店において、「売上増に貢献した。」また、「有田町の経済活性化・生活支援に有効だった」との回答を得た。

20	農畜産物販売促進活動事業	農林課	①コロナ感染症拡大により需要が減少しているため、JA農畜産物生産部会(いちご、きゅうり、アスパラ、玉ねぎ、水菜、キヌサヤ、みかん、キンカン、ぶどう、梅、花卉、茶、椎茸、肥育牛、生産牛、プロイラー)による販売促進経費(チラシ等製作費、借上げ料、調査費など)を補助し、販売拡大強化を目指す。 ②(補助費)16部会137人×10,000円=1,370千円 ③JA伊万里農畜産物部会	R2.10.1	R3.3.31	1,227,000	0	1,000,000	0	227,000	0	JA農畜産物生産部会(いちご、きゅうり、アスパラ、玉ねぎ、水菜、キヌサヤ、みかん、キンカン、ぶどう、梅、花卉、茶、椎茸、肥育牛、生産牛、プロイラー)による販売促進経費(チラシ等製作費、借上げ料、調査費など)を補助	14部会が申請を行い、交付金の交付率は100%	申請を行った14部会の交付率が100%となったことは効果があった。主な使途とし生産品を使ったレシピの紹介チラシ、オリジナルデザインを印字したスハイラル紙缶の作成費等に充てられ、販売促進活動に繋がった。
21	有田焼の魅力発信動画等制作事業	商工観光課	①有田焼の製造工程では、各工程を専門の職人が担う分業制が、今もなお大切に受け継がれてきている。この伝統が後継者の不足、さらにコロナ禍で危機を迎えている。このような中で、有田焼の製造工程の中で、職人によるプロの技を紹介する動画等を制作し、ものづくりの魅力を国内外に発信することで、後継者不足問題の解消を図るとともに、産地の魅力を十分に伝えることができるホームページに改修を行い、事業継続に支障をきたしている中小事業者への支援、地域経済の発展につなげていく。 ②動画制作等に係る経費の補助 ③佐賀県陶磁器工業協同組合	R3.1.5	R3.3.31	3,650,000	0	3,650,000	0	0	0	有田焼の製造工程の中で、職人によるプロの技を紹介する動画等を制作、産地の魅力を十分に伝えることができるホームページ改修の支援	有田焼の製造工程の中で、職人によるプロの技を紹介する動画等を制作、産地の魅力を十分に伝えることができるホームページ改修の支援	佐賀県陶磁器工業協同組合HPへの月平均訪問者数は70件程度であったが、R3.4.1～R3.6.30までの件数は433件となり月平均が144件に増加した。 ●平均滞在時間:6分45秒 ●動画掲載ページ訪問者数:321件 ●OEMページ訪問者数:206件 ●OEMページ訪問者から商談へ発展件数3件(現在進行中)
22	Webでの情報発信強化事業	商工観光課	①コロナ禍でこれまで以上に情報発信のコンテンツとして、インターネットが重要性を増している中で、有田観光協会のウェブページを動画等を取り入れながら、新たな生活様式を意識したものに改修し、これまで以上にインターネットでの情報発信を強化していく。また有田焼をはじめ農産物等の町内産品の販売にもつなげていくサイトも充実させる。 ②ホームページ改修経費の補助 ③一般社団法人有田観光協会	R2.9.14	R3.3.31	4,000,000	0	4,000,000	0	0	0	有田観光協会のホームページ改修経費の支援	有田観光協会のホームページ改修経費の支援 有田観光協会のホームページ内に、年間を通じて有田の特産品が購入できるECサイトのまとめページ「有田産品」作成	秋の陶磁器まつり期間に合わせてサイトのリニューアルオープンと「有田産品」のオープン。 「有田産品」への訪問者:51,000人
23	上有田駅観光トイレ改修事業	商工観光課	①上有田駅は駅舎も非常に趣のある風合いを保ち、また一部をカフェとして活用するなど、駅を訪問された方に憩いの場を提供している。しかしながら、トイレは汲み取り式の和式トイレとなっており、内山地区伝統的建造物群保存地区への玄関口のトイレとしては相応しくなく、観光客に衛生的かつ快適な手洗い環境を提供するために改修を行う。 ②トイレ改修のための工事請負費 ③JR上有田駅観光トイレ	R2.9.14	R3.12.28	6,815,000	0	6,000,000	0	815,000	6,000,000	繰越実施中		
24	古民家を活用した地域活性化事業	商工観光課	①町内には空き家となった古民家が増加している。今後、観光地や移住定住の候補地としての魅力を高めていくためには、魅力的な体験コンテンツを造成していくと同時に、有田らしい古民家等を活用した宿泊施設をはじめ、コミュニティスペース、シェアオフィス等の整備を行い、観光客の滞在時間と観光消費の増大を図るとともに、移住定住へとつなげていく必要がある。今回「旧青木邸」をはじめとした古民家の活用や運営方法を構築し、新たな観光まちづくりや移住定住につながるような施設として改修する事業を行い地域活性化を図る。 ②報償金及び町内古民家調査等委託料 ③旧青木邸、小路産ほか	R2.9.14	R3.3.31	600,000	0	0	0	600,000	0			
25	有田ダム入口トイレ改修事業	農林課	①有田町と伊万里市、武雄市との市町境に位置する黒髪山は、標高518mの山頂から有明海、大村湾などを一望でき、長年、麓の有田ダム周辺とともに自然を満喫できるハイキングコースとして人気を博している。地域の自然を楽しむ新しい旅行スタイルの確立を目的として、トイレ改修事業を実施する。登山口の一つに設置している有田ダム入口トイレは汲み取り式の和式トイレであり、これを水洗化、および洋式化することにより、登山客に衛生的かつ快適な手洗い環境を提供し、更なる登山客の誘客を目指す。 ②トイレ改修のため工事請負費 ③有田ダム入口公衆トイレ	R2.10.1	R3.12.28	5,500,000	0	4,974,000	0	526,000	4,974,000	繰越実施中		

26	GIGAスクール構想事業	学校教育課	①多様な子供たちを誰一人取り残すことのない公正に個別適正化された学びを学校現場で実現させることを目的とする。事業内容は、小学1年～中学3年を対象にパソコンを一人一台体制にするため整備(購入)を行う。 ②生徒用タブレット端末の1人1台整備に係る経費 ③有田町立小中学校 6校	R2.6.15	R3.3.31	11,287,000	0	11,287,000	0	0	0	0	0	0	小学1年～中学3年を対象に生徒用タブレット端末の1人1台整備	町立小中学校に1100台の端末を整備し、先行して導入した端末と合わせて、児童生徒一人一台体制を整えた。	児童生徒一人一台体制となったことで、事業のハード面での目的は達成された。 今後は、これまでの教育実践とICT機器を活用した教育を融合させ、個別最適化された学びや創造性を育む学びにつなげていく必要がある。
27	教育支援体制整備事業費補助金	学校教育課	(補修等のための指導員等派遣事業(スクールサポートスタッフの配置)) ①学校現場の新型コロナウイルス感染症対策の強化に伴い、純増した教員の業務に従事するスクールサポートスタッフ1名を配置する。業務内容は、有田中学校における校内消毒、学習保障のための印刷業務など。 ②補助対象 報酬、期末手当/補助対象外 通勤手当、雇用保険 ③有田中学校	R2.4.28	R3.3.31	583,712	350,000	233,712	0	0	0	0	0	0	純増した教員業務に従事するスクールサポートスタッフ1名を配置	新型コロナ感染防止対応のための教員の負担を軽減するために、有田中学校に1名のスクールサポートスタッフを配置した。 事業費は、報酬・期末手当	有田中学校は、町内学校の中で面積が広く、教員が校内消毒にかんがりの時間を要するが、スクールサポートスタッフを配置することで、教員の負担を軽減できた。また、コロナ感染にかかる印刷物などの印刷業務及び配布準備を、教員の代わりに行ってもらった。 今後、臨時交付金がなくなった後の、スクールサポートスタッフの財源が課題となる。
28	修学旅行キャンセル料等補助事業	学校教育課	①小学6年生、中学3年生の修学旅行が新型コロナウイルスの影響で中止または延期になった場合、保護者負担のキャンセル料を支援する。 ②キャンセル料(負担金補助金及び交付金) ③保護者	R2.9.14	R3.3.31	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
29	3密対策・オンライン教育環境整備事業	学校教育課	①ICT機器を活用し、全校集会などで生徒が1箇所に集まる必要がない環境を整備する。また、一斉休校や分散登校が実施された場合にはオンライン授業に活用する。 ②ICT機器の調達及び設定費を交付対象経費とする。 ③有田町立小中学校 6校	R2.10.1	R3.3.31	41,987,330	0	41,987,330	0	0	0	0	0	0	ICT機器の調達及び設定	電子黒板、電子黒板用パソコンを72台、また、動画配信用スイッチャー等を整備し、オンライン集会やオンライン授業が実施できる体制を整えた。	整備した機器を使い、全校集会や学年集会が行われており、1箇所に集まらずに、学校行事ができています。
30	学校保健特別対策事業費補助金	学校教育課	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①学校再開に際して、感染症対策等を徹底しながら児童生徒の学習保障をするための新たな試みを実施するにあたり、学校教育活動を支援するもの。 ②消毒液などの衛生用品購入、修学旅行の3密を防ぐために増台したバスの賃借、換気のための網戸設置工事及びアクリルパーテーションなどの備品購入に係る経費 ③有田町立小中学校 6校	R2.4.28	R3.3.31	5,718,853	0	2,823,000	0	2,895,853	0	0	0	0	消毒液などの衛生用品購入、修学旅行の3密を防ぐために増台したバスの賃借、換気のための網戸設置工事及びアクリルパーテーションなどの備品購入	学校で感染防止対策をしながら児童生徒が学校生活を過ごすことを目的に、校内消毒・手指消毒のための衛生用品を購入した。また、学校長が必要と判断したのとして、郊外活動等で3密防止のバス賃上料、換気のための網戸設置、各クラスに加湿器購入を行った。 ・有田小学校 947,568円 ・有田中部小学校 1,215,334円 ・曲川小学校 993,975円 ・大山小学校 1,020,626円 ・有田中学校 542,279円 ・西有田中学校 999,071円	各学校の判断で予算化し、学校生活の再開にむけて迅速な対応ができたことは効果があった。 今後は、家族のコロナ感染やPCB検査に関係して自宅待機せざるをえない児童生徒の学習保障が課題となる。
31	図書館公衆衛生事業	生涯学習課	①新型コロナウイルスの感染拡大において、紙を介したクラスターが発生した事例があり、本を扱う図書館の危険性が指摘される中で、図書館としての役割を引き続き果たしていくべく、本の除菌を行い、衛生面での安全性を確保する。 ②備品購入に係る経費を交付対象経費とする。 ③有田町東図書館及び西図書館	R2.10.1	R3.3.31	506,000	0	506,000	0	0	0	0	0	0	書籍用除菌BOX購入	書籍用除菌BOX2台を東西図書館にそれぞれ設置	除菌機器を使用する図書館利用者はかなりの数いらっしゃる。 設置したことにより本の貸出の際の安全安心に寄与している。

32	焔の博記念堂空間安全・安心確保事業	生涯学習課	①文化ホール、コンベンションホールの舞台催事(文化発表会や講演会等)を安全に開催するため、ハンディ型AIサーマルカメラによる離れた距離からの検温を行う。また、客席間の安全距離の確保に伴う収容人数減少の対策として、別会場にリアルタイムの舞台映像を配信するための環境整備を実施することにより、安全な距離・空間を確保しつつ舞台催事を開催する。同時に、配信映像をインターネットと接続することで外部へ配信することにより、感染拡大の状況下でも無観客で開催できるため、地域の文化力の維持することができる。 ②工事及び備品購入に係る経費を交付対象経費とする。 ③この博記念堂	R2.10.1	R3.3.31	6,220,500	0	6,220,500	0	0	0	ハンディ型AIサーマルカメラ、間仕切りロールカーテン設置、舞台映像を配信するための環境整備	発熱者等を事前に検知でき、感染拡大を未然に防止できるようになった。 新型コロナウイルス感染拡大の中、安全な距離・空間が確保でき、催事開催が可能となった。 映像等をインターネットと接続することで外部へ配信することにより、感染拡大の状況下においても地域文化力を維持できる。	新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、安全な距離・空間を確保しながら舞台等の大きな催事を開催していきたい。 また、外部へ映像等を発信するための機器やインターネットの使用方法を熟知し、さまざまな活用策に対応しながら感染拡大の状況化においても地域文化力を維持したい。
33	体育センター屋根等改修事業	生涯学習課	①大雨災害の激甚化により避難者が急増するとともに、新型コロナウイルス感染防止が求められる中で、町内避難所の確保を目的として、避難所として活用する体育施設の改修工事を実施することにより、3密対策として災害避難時の空間を確保維持する。 ②老朽化した屋根の改修のための工事請負費 ③有田町体育センター	R2.10.1	R3.6.31	42,400,600	0	34,800,000	0	7,600,600	34,800,000	避難所として活用する体育施設の老朽化した屋根の改修	災害時などによる対象者(町民)の避難所確保率、及び新型コロナウイルス感染防止の中での3密対策としての空間確保ができた。	今後、起きうる大雨や台風等の災害時に増加する対象者(町民)の避難所確保、及び新型コロナウイルス感染拡大防止の中での3密対策として避難時の空間確保が可能となる。
34	営業時間短縮協力金事業	商工観光課	①佐賀県による飲食店等に対する時短要請に伴い、影響を受ける飲食店等の事業を継続し、雇用を維持するとともに、県と連携して感染防止の徹底を図るため、県の協力金に加え、有田町独自の協力金の交付を行うもの。 ②佐賀県の要請期間(令和3年1月21日から令和3年2月7日)全ての期間に、要請に応じている者。1店舗当たり18万円。 ③有田町内で飲食店等を営む事業者で、佐賀県時短要請協力金を受けたもの。	R3.2.15	R3.3.31	12,240,000	0	10,980,000	0	1,260,000	0	県の協力金に加え、有田町独自の協力金の交付	180,000円/件×68件に交付	新型コロナウイルス感染症対策として佐賀県が交付する、佐賀県時短要請協力金を受けた飲食店等の上乗せ補助金として交付した。飲食店等の事業継続の下支えとなった。